

- レベルⅢ(卒後6年目～)

レベルⅢ(卒後6年目～)



看護実践の役割モデルになれる、看護業務の改善に向けて率先して問題解決に取り組む、自己のキャリア開発ができる、看護研究・研修を通して看護実践を深めることを目標にカリキュラムを組んでいます。

研修コース

臨床研修

ICLS	救急蘇生時、医療チームの一員としての役割が理解できる
	EBMに基づき、状況に応じた適切な対応ができる

マネジメント

問題解決技法	問題解決能力を身につける
	看護管理について学ぶ

アサーション・ トレーニング	自己表現力の向上
リスクマネジメントⅡ	インシデント事例の分析方法を学びリーダーシップに 活かすことができる
リーダーシップ論 アドバンス	チーム運営、グループ活動の中で リーダーシップが実践できる
ナラティブ	自己の看護を振り返り、看護観を語る
スペシャリスト ジェネラリスト	自己のビジョンを明らかにする

高機能シミュレーターを使った ICLS 研修。
救急救命に対応できる看護職を育成するために
院内でも ICLS 研修を行っています。

